

# アベノミクスで加速する 企業ガバナンス改革

大和総研金融調査部 鈴木裕

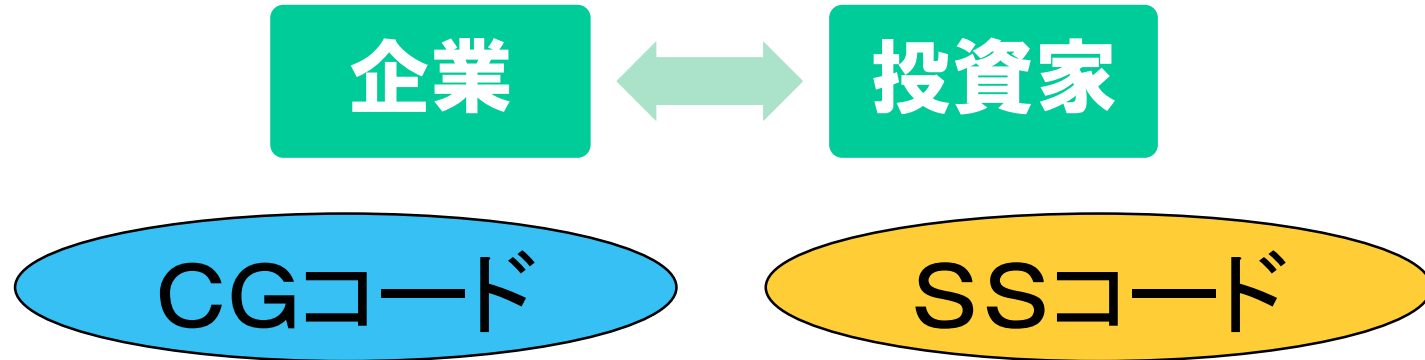
# 企業ガバナンス改革を重視するアベノミクス

「日本再興戦略2016—第4次産業革命に向けて—」

コーポレートガバナンス改革は、成長戦略の最重要課題である。その位置付けに変わりはない。

「企業と投資家の建設的な対話」、その実効性を上げていくことが求められている。魔法の杖があるわけではない。

# スチュワードシップ(SS)コードと コーポレートガバナンス(CG)コード



互いのベストプラクティスを理解しあいながら  
対話を進められるようになる

(出所) 大和総研作成

# SSコードとCGコードのフォローアップ会議

「『日本再興戦略』改訂2015-未来への投資・生産性革命-」

昨年2月に策定・公表された「スチュワードシップ・コード」及び本年6月に適用が開始された「コーポレートガバナンス・コード」が車の両輪となって、投資家側と会社側双方から企業の持続的な成長が促されるよう、積極的にその普及・定着を図る必要がある。

上場企業と株主との間の対話がコーポレートガバナンス・コードの趣旨・精神にかなった形で円滑に行われていくよう、取引所と連携して全般的な状況の把握を行い、その結果を公表する。

# CGコード見直しの論点

## フォローアップ会議で出された今後の課題

- CEOを解任できる仕組みを整える
- 取締役会に積極的に貢献できる独立社外取締役が、より多く選任されるべき
- 監査委員会等の委員長を独立社外取締役とすることが有益
- 内部通報は経営陣から独立した窓口で情報が伝達されるべき
- 取締役会実効性評価では、取締役会メンバー一人一人による率直な評価が重要

(出所)フォローアップ会議意見書(2)をもとに大和総研作成

# 今後のガバナンス改革の課題①

## 企業の情報開示の実効性・効率性の向上

**【本年中に順次開始】** 四半期開示に関する決算短信の見直し、  
今後の必要な改善点の把握

**【本年度中】** 事業報告等と有価証券報告書を一体的に開示する  
場合の具体的な進め方の決定

**【2019年前半を目途とした実現を目指す】** 国際的に見て最も  
効果的かつ効率的な開示の実現及び株主総会日程・基準日の  
合理的な設定のための環境整備

(出所)「日本再興戦略2016—第4次産業革命に向けて—」(赤字は筆者)

## 今後のガバナンス改革の課題②

### 株主総会プロセスの電子化

**【来年早期の会社法制の整備着手も目指す】**株主総会の招集通知添付書類(事業報告や計算書類等)を原則電子提供とする方向で、来年早期の会社法制の整備の着手も目指しつつ、講ずべき法制上の具体的な措置内容を検討する。

(出所)「日本再興戦略2016—第4次産業革命に向けて—」(赤字は筆者)

# ガバナンス改革の検討

## フォローアップ会議

スチュワードシップ責任  
徹底を図る

投資家と上場企業の  
対話の質の向上

取締役会の実効的な  
機能発揮

政策保有株式の縮減へ  
の取組状況

コーポレートガバナンスの  
実効性向上

## 金融審議会

実効性あるコーポレート  
ガバナンスに資する  
市場構造の実現方策  
について検討

(出所)「日本再興戦略2016—第4次産業  
革命に向けて—」をもとに大和総研作成